

青少年ふくしま

福島県青少年育成県民会議
第53号
平成29年1月10日(火)

新年明けましておめでとうございます。皆様お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

今年度は、福島県青少年育成県民会議が発足して50周年を迎えました。設立以来、当県民会議では、次代を担う若者たちがその役割と責任を自覚し、心豊かに成長することを願い、県内各地の市町村民会議をはじめとする多くの皆様とともに青少年健全育成活動に取り組んで参りました。今年も引き続き、皆様の温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、「青少年ふくしま」第53号では、今年度実施した事業についてお知らせいたします。

第38回少年の主張県大会 ～ 今、私たちが伝えたいこと！～

昨年(平成28年)9月27日(火)、会津坂下町中央公民館を会場として「第38回少年の主張福島県大会」が開催されました。県内39市町村の中学生から15,721点の作文応募がありました。各市町村民会議から本県民会議に125点が推薦され、第1次・第2次審査により決定された代表者16名が、日ごろ考えている自分の思いや願いを約400名の聴衆を前に堂々と発表しました。発表に先立ち福島県青少年育成県民会議、杉原陸夫副会長と開催地の齋藤文英町長よりご挨拶と温かい励ましの言葉をいただきました。

各発表者は、「今、私たちが伝えたいこと！」というテーマで表現力豊かに自分の考えを述べました。会場には、会津坂下町立坂下中学校の生徒約200名をはじめ、たくさんの方が真剣にそれぞれの発表に耳を傾けていました。また、司会は坂下中学校3年生の猪俣里奈さんと仮名遥希さんが担当し、スムーズに進行してくれました。主張の内容は将来の夢や未来、命の大切さ、ふるさとへの思いなど多岐にわたり、どの発表からも福島県の将来を担う中学生の若い息吹、みずみずしい感性が伝わってきて、心強さを感じました。発表終了後は坂下中学校吹奏楽部の皆さんによるすばらしい演奏を鑑賞し、心やすらぐひとときとなりました。引き続き審査結果発表と講評が行われ、表彰式では杉原陸夫審査委員長から最優秀賞1名、優秀賞5名、優良賞11名に賞状と輝くトロフィーや盾が授与されました。各賞受賞者の氏名と発表概要を次にご紹介します。



(※ 当県民会議のホームページでは、全員の発表の全文を掲載し、音声を聞くことができます。)

<受賞者と発表概要の紹介>

最優秀賞 **「インド人～喜捨のころ～」 榊原 光起さん(会津坂下町立坂下中学校3年)**

インドでの暮らしの中で、お金持ちでない現地の運転手さんが少年にお金を恵んでいた。これは、富む者が貧しい者を助けるためにお金や物を喜んで与える「喜捨」という行為であった。インドでは「喜捨」ができる社会、そこに生きる人々はたとえお金はなくても心は決して貧しくはない。喜捨のころは本当の豊かさを示すもの、他者に対する優しさにつながる心を考えさせられた。



優秀賞 **「挨拶」の大切さ 阿部 望花さん(鏡石町立鏡石中学校3年)**

生徒会役員として、毎朝、昇降口で同級生や下級生にあいさつ運動をしている。部活の顧問から「あいさつ」に込められた意味を教わった。「挨拶」は「心を開く」、「相手」は「相手に迫る」と意味がある。「『挨拶』をするときには相手に対して、素の自分のまま真っ直ぐな気持ちでぶつかっていこう。」私はこの教えを忘れることなく自分から進んで元気のいい挨拶をしていきたい。

優秀賞 「友好のかけ橋」 山口 実紗さん（田村市立船引南中学校3年）

私は5人家族。母と兄の国籍は中国で二人の会話は中国語だ。そこで私は中国と日本の文化の違いについて知りたくなった。感情表現や街並み、衣服などの違いがある。日中には大きな壁があるようだが、よい協力者の元、両親の結婚のようにお互いの心と心が触れ合えば様々な問題は解決に向かうと思う。将来、様々な国の方々の触れ合いのお手伝いをすることが夢・目標である。

優秀賞 「故郷の誇り」 武内 優貴さん（会津若松市立河東中学校3年）

中学3年の7月のある週末、一時帰宅が許される年齢の15歳になり、父とともに私の故郷双葉郡大熊町の家へ5年ぶりに帰った。懐かしい光景に胸がいっぱいになった。ドアを開けて「ただいま」と言い、とても幸せだった。忘れないでほしい。大津波と原発事故が福島を襲ったことを。福島の人々が立ち上がったことを。故郷の誇りをかけて頑張るあなた自身のことを。

優秀賞 「自分が役に立つということ」 伊東珠瑠愛さん（相馬市立中村第一中学校3年）

私には年の離れた妹が二人いる。妹の入学を機に仕事を始めた母の帰りが遅いため、時間帯によっては私が妹の面倒を見ている。妹はまだ小学校低学年なので学童保育施設を利用したいが、優先順位があり利用できない。「待機児童問題」は私にとって大きな課題だ。私は将来保育士になりたい。今回の経験は、将来の生き方を明確にするよい機会となった。

優秀賞 「絵本が広げてくれた私の未来」 大須賀萌恵さん（新地町立尚英中学校1年）

保育所の頃から、「孫たちが本を好きになるように」と、祖母から絵本が毎月送り届けられていた。絵本が届くとワクワクしながら読んだ。読みきれなかった絵本は、夕食後の「読書タイム」や寝る前の母の読み聞かせと持ち越された。私は、絵本から教わったことをしっかりと伝えたくさんの人の想像力を豊かにすることのできる司書を目指したい。



優良賞 「私達にできること」 吉田 愛里さん（伊達市立霊山中学校2年）



7月に学校近くの病院で職場体験をした時、看護師さんは「患者さんが健康でいられることが私達にとっての幸せなんだよ。」と言い、患者さんとのコミュニケーションや思いやりの心を大切にしていた。看護師さんと患者さんが強い信頼関係で結ばれていることに感動した。伊達市の高齢化率が高い状況の中、高齢化社会の一員として誰かの役に立ちたいと考えている。

優良賞 「世界を照らす第一歩」 関根 蒼空さん（伊達市立月館中学校3年）

昨年12月、福島県PTAと水俣市PTA主催の「福島・水俣交流事業」に参加のため、熊本県を訪れた。この事業は、水俣病の被害や人々の苦しみを知り、そこから復興に向かっていった姿を学び、東日本大震災からの福島県の復興につなげていくものである。誤った情報でなく正しい情報を見極め、それを周りに発信していくことが差別や偏見の負の連鎖をなくすことになる。

優良賞 「当たり前前の裏側に……」 赤井 咲月さん（桑折町立醸芳中学校2年）

2年生になった春、妹が肺炎で入院し、母は看病で病院に寝泊まりになった。父は単身赴任で、祖母はリウマチで家事は困難。炊事洗濯の家事は、自分が一手に引き受けることになった。朝食の準備、洗濯物や夕飯、風呂の支度、洗いに明日の準備。時間に追われながら必死で頑張った。当たり前前に暮らしていけることに感謝し、毎日を真剣に生きることが大切である。

優良賞 「夢をあきらめない」 星 櫻子さん（須賀川市立長沼中学校3年）

私の夢は幼稚園の教師になることだ。職場体験も幼稚園で行った。待ちに待った当日。5歳児の前で、緊張しながら自己紹介をした時、「ばばあ。」という声とともに男の子が列からはみ出し走り去っていった。楽しいはずの職場体験が、一人の男の子に振り回され、何もできずに終わってしまった。夢を叶えるために自分に何ができるのか、一日一日を大切に過ごしていきたい。

優良賞 「悩みと上手に向き合うために」 櫻井宗一郎さん（白河市立白河第二中学校3年）

2年生の冬、生徒会会長選挙で落選した。今まで生きてきた中で一番の挫折だった。心配した先生は「学校は生徒会長だけが引っ張るものでない。生徒会全員で支えていくんだ。生徒の中で引っ張っていけば会長以上の力が出せる。」と言葉を掛けてくれた。私は新たな目標に向けて、一歩踏み出す勇気ももらった。悩みながら今、私は規律委員長になり学校を支えようとしている。

優良賞 「母からもらった宝物」 藤田 弥生さん（鮫川村立鮫川中学校3年）

悪性リンパ腫。2年前まで母が闘った病気である。母が入院し、学校が終わると父と私と妹で、毎日のように面会に行った。いつものように面会を終え、帰宅して眠りについたが、夜中、父から母が亡くなったとの電話があった。母が私に残してくれた最大の宝物、それはたった一つの大事な命。母への一番の恩返しは、母からもらった命と他の人の命を大切にすることだと思う。

優良賞 「幸せを感じられる町に」 小檜山桃実さん（猪苗代町立東中学校3年）

私達のふるさと、四季折々、様々な美しさを見せる、一年を通してスポーツやレジャーを楽しめる猪苗代町。去年「猪苗代町の未来を創造しよう」というテーマで社会の授業を行った。大好きな猪苗代町がたくさん抱えていることに驚いた。少子高齢化の流れをゆるやかなものにし、新たな町づくりを進め、猪苗代町が「幸せを感じられる町」になるよう願っている。

優良賞 「これからの北塩原を思う」 大竹 健生さん（北塩原村立第一中学校3年）

僕は北塩原村が大好きだ。毎日学校に通う通学路からは、四季折々の美しい山なみが見え、春から初夏にかけては、すがすがしい風が吹く。ところが、最近「村の子供が少なくなった。」「若い人は村から出て行く。」という話が耳に入ってくる。この課題を解決するため、僕達はどのような努力をしていったらいいのか。他に負けない豊かな村をみんなで築いていけたらと思う。

優良賞 「真実を見て・・・」 藤田 菜記さん（会津坂下町立坂下中学校3年）

「福島・水俣交流事業」で水俣市を訪問した。語り部のお話から「死と隣り合わせの生」「差別の屈辱」の苦しさを感じた。差別の温床は偏見にあるのだと思う。私たちの福島県も同じだ。だからこそ、私たちは正確な情報を正しく判断し、偏見をなくす努力をしなければならないと思う。誇りを持って生きることによって、必ず偏見を克服できると確信している。

優良賞 「命をつなぐ」 平野 知佳さん（南会津町立南会津中学校3年）

小学校入学前に、持病があった従兄弟が亡くなった。葬儀では従兄弟の姿に胸が苦しくなり、ずっと泣いていた。その2年後、兄夫婦に赤ちゃんが生まれた。「命」は多くの人に喜びを与え、悲しみも与えるとても重いものだと感じている。総合学習の時間に助産師さんのめばえ教室を受け、命について深く考えることができた。大切な命をつなぐ一人として精一杯生きていきたい。

優良賞 「差し伸べられる手で変わる心」 土井ゆかりさん（いわき市立勿来第二中学校3年）

中学1年生の春、私は住み慣れた東京を離れ、勿来二中に入学した。新しい生活で話題が分からず、会話が続きず寂しい思いをした。そんな私に積極的に話しかけてくれる、笑顔がまぶしい人がいた。人とつながることの素晴らしさを私は実感した。今青少年の非行が問題となっているが、差し伸べられる手で心は変わる。人の温かさで、非行は止められる。自分にできることから始めたい。



「福島県青少年健全育成推進大会」地震で中止

平成28年11月22日（火）、福島県文化センターを会場に開催を予定していましたが「福島県青少年健全育成推進大会」は、当日朝に発生した地震の影響で、開催中止のやむなきに至りました。関係者の皆様には、大きなご迷惑をおかけいたしましたことを、改めてお詫び申し上げます。

当日、壇上で受け取っていただくはずでした知事表彰をはじめとする各表彰状につきましては、後日関係機関を通じてそれぞれのお手元にお届けいたしました。受賞者の皆様の御芳名を改めて掲載させていただきます。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

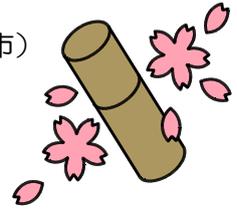
1 福島県青少年健全育成条例に基づく知事表彰

○青少年育成者の部

山岸敦子様（ガールスカウト県連盟） 酒井修司様（福島地区少年警察ボランティア会）
山崎純子様（郡山市開成地区協議会） 加藤正博様（会津若松市子ども会育成会連絡協議会）
大竹洋一様（南会津地区少年警察ボランティア会） 高木勝代様（いわき南地区少年警察ボランティア協会）

○青少年育成団体の部

岳下地区青少年育成推進協議会様（二本松市） 御代田婦人会様（郡山市）
みさか小学校図書ボランティア様（白河市）



② 福島県青少年育成県民会議会長表彰

○青少年指導者の部

伊藤智子様、菅野一様、尾形哲夫様、佐藤正勝様（福島市）中木トク子様、千葉康生様（伊達市）橋本幸一様、穂積利弘様、加藤充様（郡山市）高野隆夫様、國井久年様（白河市）海野文雄様、栗原正幸様、長岡統和様（会津若松市）山本フミ子様（猪苗代町）穴澤正彦様（喜多方市）高山克男様、今野裕子様（相馬市）山田廣治様（南相馬市）石川四郎様、渡辺初江様（いわき市）

○青少年団体・青少年育成団体の部

野田地区青少年健全育成推進会様（福島市）サークルおはなしおかあさん様（伊達市）福島大ボランティアサークルHEARTS様（二本松市）本宮地区少年警察ボランティア会様（本宮市）柳橋歌舞伎保存会研究部様、郡山市青少年健全育成橘地区協議会様（郡山市）小野田小大竹少年少女火防団様（白河市）ボーイスカウト福島連盟会津若松第1団様（会津若松市）いわき南地区山田防犯協会様、ガールスカウト福島県第22団様（いわき市）

○青少年育成市町村民会議の部

大玉村青少年育成村民会議様 会津美里町青少年育成町民会議様

○青少年健全育成成功労者の部

齋藤周夫様（福島市）酒井睦夫様（伊達市）神尾恒雄様（川俣町）吉野正昭様（二本松市）佐藤ヒロノ様（郡山市）小林幸一様（鏡石町）木村俊一様（会津美里町）佐々木文弘様、渡邊孝子様（いわき市）

③ 「家庭の日」作品コンクール知事表彰（最優秀賞受賞者）

○【作文部門】

「ほめほめかいぎ」 吉村織花さん（玉川村立須釜小学校1年）
「ぼくの家族はみんなヘルパー」 片寄太晴さん（玉川村立須釜小学校3年）
「我が家のコミュニケーション」 大高秀斗さん（西郷村立小田倉小学校6年）
「家族のルールで広がる明るい未来」 林 希咲さん（福島市立信夫中学校3年）
「家族の優しさ」 高林紀香さん（福島県立郡山養護学校高等部1年）

○【絵画・ポスター部門】



「弟の初めての花火」
南 真湖さん（須賀川市立阿武隈小学校4年）



「楽しかった海」
菅野真央さん（西郷村立熊倉小学校6年）



「絆を深める家庭の日」
水野 舞さん（矢吹町立矢吹中学校2年）

◇ 「ぼくのたいせつな家族」 岩井智也さん（須賀川市立稲田小学校1年）

※「家庭の日」作品コンクール最優秀作文・絵画・ポスターは「福島県青少年育成県民会議」のホームページで紹介しています。 HPアドレス <http://www.fukushima-youth.com/>

お知らせ

第4回「大人が変わるためのセミナー」講演会の開催

◇日時：平成29年2月18日(土)13:00~14:45 ◇場所：福島県青少年会館

◎演題：「少年のスポーツ指導法について」

詳細はチラシに記載

◎講師：福島大学トラッククラブ 二瓶 秀子 氏
（陸上競技女子100m、200mの元日本記録保持者）

問い合わせ：TEL 024-546-0002 FAX 024-546-8311

